

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

50 インチ デジタルテレビを教室に配置! ? 学校 ICT 環境整備は 現場の声を聞いて!

豊中市は、デジタルテレビ、パソコンなどを「学校 ICT 環境整備事業」として予算化し、7月の市議会臨時議会で審議されています。

これは、国の平成21年度補正予算において、学校耐震化、エコ化、ICT化等に予算化したものをうけたものです。
国の国庫補助金(約1億2000万円)と地域活性化・経済危機の臨時交付金(約1億2000万円)を使つての事業です。

アナログ放送の終了が近づき、デジタルテレビの配置計画など、全教豊中は、これまでも市教委に求めてきました。

今回の予算は、全体としては評価しつつ、問題点も
あります。

(2面に続く)

いっぱいの教室に

おけるのか?

—— デジタルテレビ

50 インチの1台25万円のテレビとその台に6万円の。小学校5・6年教室と中学の特別教室に配置するとしています。小学校では配置場所は、黒板右の掲示板あたり置くとしていますが。給食台はどうなるのでしょうか。文科省の資料では英国の教室写真を見せていますが、クラス人数の少ない、さらに教室での給食もないなかでの配置です。



40人近い5・6年教室のどこに置くの? 給食台はどこに?

写真は文科省資料より



2009年7月15日
NO、439

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

とよなか

全教豊中教職員組合

パソコン600台の根拠
プロジェクター 6台/校×59校=354台
教員1660人-1400人=260台

校務用パソコン整備に 600台——必要?

教員1660人に対し、現在1400台普及しているとして残りの260台。さらに、各校6台配置(校内LAN導入校)のプロジェクター接続用として各校6台のパソコンを予算化しています。

現在配置しているパソコンでは足りずフル稼働している学校もあれば、ロッカー等にそのままになっている学校もあります。学校もありません。すべての学校に全教員分+6台のパソコンを一律に追加する必要がありますか。

今、必要な予算は？ 現場の声を聞いて

今年度、学校現場では、新指導要領の先取り、移行内容の学習などおこなっています。授業時数の増加や授業内容の増加によって、子どもにとってもあわただしい学校現場になっています。

夜遅くまで学校の電気がついていたり、超多忙な学校現場に最新の教育機器の導入がはかられても、それを有効に使っていくための条件が十分とはいえません。一方、毎年「予算がない」とささくれだつたイスや机の補充も十分に配当されていません。国の予算とはいえ、十分精査して予算化してほしいものです。

全教員中はこの補正予算の「学校ICT環境整備事業」について、教育委員会に十分な精査をすることと現場の声を聞いて配置することを強く要望しました。学校現場からも必要な声をあげることが重要です。

文科省「スクール・ニューディール」構想II教育環境の抜本的充実を図るとして、学校耐震化の早期推進、学校への太陽光発電の導入をはじめとしたエコ改修、ICT環境の整備等を一体的に推進することとしています。

□デジタルビデオの整備			
小学校	デジタルテレビ設置(5・6年全クラス+支援学級)	260台	(25万円/台 テレビ台6万円/台)
	DVD配置(各校2台)	82台	
中学校	デジタルビデオ配置(特別教室2教室)	37台	
	電子黒板機能付きテレビ配置	18台	(70万円/台 計1260万円)
	DVD配置(各校1台)	18台	
□校内LANの整備		15校	(400万円/校 計6000万円)
□校務用パソコン整備		600台	(12万円/台 計7200万円)

「スクールニューディール」についての情報は

文科省HPに詳細

http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/newdeal/kanren/1279519.htm

6月下旬から7月におこなわれたPOWER UP講座は、いずれも参加者には大好評でした。

参加者の声・感想

○理科っておもしろいなあと改めて思いました。教材の出し方一つでも、楽しく提示してあげることができるとなると思いました。

○理科の授業には驚きが必要だなと痛感しました。黒板だけに終わらせず、いろんなものを提示して子どもたちに「なんでだ



ライオンにかまれた感じは？

理科っておもしろいなあ！



ろう？」と思わせることが大切だと感じました。

○基本が知れて2学期から1年生で始まるえのぐがんばります。

○今日の動物の散歩は、とても楽しかったので、これから、子どもがしつ

POWER UP講座 第3・4弾 (6/20 7/4)

理科講座—三上周治さん 図工講座—服部宏さん



絵の具の基本が知れた！



かりとイメージをふくらませて、楽しくかけるような図工の授業を考えたいと思いました。

夏！ 研究会に出かけ、大いに学ぼう！

夏休みが近づいて来ました。ふだんはゆっくりできない自主的な研究や研修ができる機会です。

この7～8月は、民間の教育研究サークルの全国大会が立ちこちでおこなわれます。

全教組組合員が一覧冊子をもっています。興味のある方は、声をかけてください。

8月22日 市民会館
豊能地域 夏季教育研究集会

豊中、箕面、池田、豊能郡の全教が共同してとりくみます。

記念講演では木津川計さんに文化について語ってもらいます。

分科会もそして、明日から役立つ実技講座も充実。ぜひ、ご参加下さい。

詳細は、教研実行委員会の教研要項をご覧ください。

手元に置いておきたい一冊
学級づくり・授業づくり・教材研究に！

『科学的とはどういうことか』

一いつら博士の科学実験

仮説社 板倉聖宣著

この本は、今から30数年前に出版された220ページほどの本ですが、内容は現在にも十分使えるようなモノです。

例えば、「砂糖水でも卵は浮くか」という話では、大学生はもちろん先生までが間違えたと言うことや、一を聞いて十を知ることの難しさなどもわかりやすく書かれています。

また、別の項では、「鉄1キロと綿1キロとではどちらが重い？」これは子どもがよく間違える問題で、日本語の「重さ」という意味に二重の意味があるから

で、モノの種類によって決まる重さ（比重、密度）と体積も考えた上での全体の重さがあるという話です。

これらは、予想をたててから実際にやって見ると結果がはつきりする問題です。興味のある人は、やってみたらどうでしょう。

また、第二部では「霊能力」や「超能力」など流行ることがありますが、それを取り上げて、スプーン曲げの反省やコックリさんはなぜ動く、うそから大発見も生まれるなど知りたくなる話を書いてあります。自

分で読んで楽しむもよし、子どもたちに問題を出して予想させ、実験してもよしの楽しくするために本です。

出版社 仮説社

定価 1680円（税込）

「科学的に考える」ということを、具体的な現状や事象をもとにして考えさせられる一冊です。

